

学校便り

JAPONSKÁ ŠKOLA V PRAZE

プラハ日本人学校

TEL : 233 340 000

FAX : 233 322 424

Email: gakko@jpschool.cz

No.914 2018/6/26

VLTAVA

学校教育目標

「自ら学び共に学ぶ、豊かな心と国際性あふれる たくましい児童・生徒の育成」

目指す子ども像

かしこい子・やさしい子・たくましい子・世界で生きる子

1・2年生が欧州隣人の日（5月31日）に、ペジナ校と交流

プラハ日本人学校の子どもたちは、日本とチェコの歌を披露しました。けん玉やダルマ落としなどをしてペジナ校の子どもたちと一緒に遊びました。折り紙と着物の着付けや、お習字でチェコの子どもたちの名前を漢字で書くPTAのコーナーも長い行列ができるほど好評でした。



リジツェ村平和記念式典（6月10日）

小6から中3までの児童生徒が、LIDICEの82人の子ども像の前で黙祷し、平和への願いを込めて「ハレルヤ」と「花は咲く」の2曲の歌をうたいました。小1から中3までの全校児童生徒で折った千羽鶴と花束をささげました。



◎リジツェ平和記念式典に参加し、私はプラハ日本人学校として、歌をうたい、子ども像を笑顔にすることができたと思います。また、「平和」を願うことができました。みんなや代表委員会を中心につくった千羽づるをとどけることができよかったです。平和式典に参加し、より平和に思う気持ちが強くなりました。また、私が無事に生まれ、今日幸せに生きていることに感謝したいです。

また、合唱祭を聞き、それぞれのグループの歌には1曲1曲平和をいのるような気持ちがこめられていました。最後の全体合唱では、私たちが歌った「HALLELUJA」とは少しちがってとてもきれいでした。曲名は忘れてしまったけど、その次に歌った曲も音色や声が分かれていて、感動しました。

今日経験し、歌はみんなの心が1つになるものではないかと改めて感じました。そして、1日、1日を楽しく過ごしていきたいです。私たちがこうして毎日生きていることに「ありがとう」。

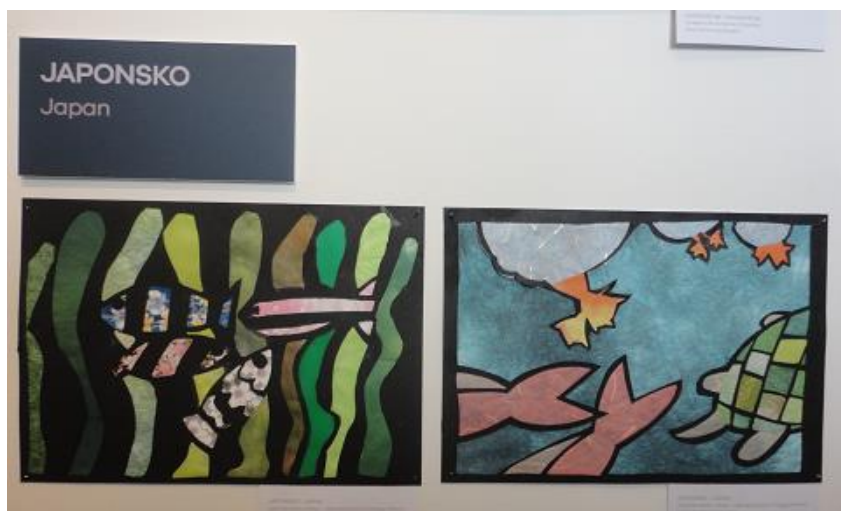
小学部6年

◎今回でリジツェに行くのは最後だった。リジツェ村に着いた時は、まだ気がゆるんでいて、他の人としゃべったりしていた。しかし、子ども像の前に行くとき緊張というよりも、ここで亡くなった子どもたちの分も生きたいと思った。そのような気持ちを込めて歌をうたった。リジツェで起こったことを心に残しながら、今生きていることをありがたく思って生活していきたい。

中学部3年

第46回「リジツェ国際児童絵画展」

今年のテーマは「水」でした。世界の79か国の子どもたちが29,967点応募しました。1,246点の優秀作品の中に、プラハ日本人学校中学部2年の二人の作品が選ばれました。リジツェ村の美術館に11月25日まで展示されています。



※お願い

- (1) 保護者のみなさまには、来校証をお渡ししていますが、今までは、来校証をご提示ない場合でも入校できるときがありました。ガードマンには来校証の提示がない場合は、玄関でお待ちいただき、職員室へ連絡するように指示しておりますのでご了解ください。
- (2) 欠席や遅刻、早帰りの連絡を、メールでいただく場合があります。基本的には、電話か連絡帳での連絡をお願いいたします。担任は、対応できるときもありますが、授業中などで返信できない場合がありますので、電話か連絡帳でお願いいたします。